

(第十四部)

第一回 参議院運輸及び交通委員会會議録第十九号

付託事件

- 磐越東線三春、船引兩驛間の要田村に停車場を設置することに關する請願(第二二號)
- 鐵道運賃の値上げ反對に關する請願(第二三號)
- 長岡鐵道を國營に移管することに關する請願(第四號)
- 海運經營方式並びに船員管理に關する請願(第十五號)
- 鐵道運賃値上げ反對に關する請願(第十號)
- 高崎、熊谷間に電化工事を実施することに關する陳情(第四十五號)
- 鐵道運賃値上げ反對に關する陳情(第四十七號)
- 磐越東線神俣、大越兩驛間の瀧根町管谷に停車場を設置することに關する請願(第十三號)
- 日本通運株式會社の營業權並びに設備を舊關係業者へ還元することに關する陳情(第八十五號)
- 海運經營方式並びに船員管理に關する陳情(第九十六號)
- 東北本線宇都宮、大宮間、日光線宇都宮、日光間及び兩毛線小山、高崎間の電化實現に關する陳情(第九十九號)
- 海上輸送力緊急増強に關する陳情(第二百二十三號)
- 海難審判法案(内閣提出、衆議院送付)
- 鐵道營業法の一部を改正する法律案(内閣提出、衆議院送付)
- 木原線鐵道工事の速成に關する陳情
- 海鷲見臨港鐵道線外三鐵道線拂下げに關する請願(第六十號)
- 江差町、東根村間に國營自動車の運輸を開始することに關する陳情(第一百五十六號)
- 學生鐵道運賃の是正に關する請願(第九十號)
- 東北本線二本松、本宮兩驛間の杉田村に停車場を設置することに關する請願(第九十二號)
- 博多、豊後及び對馬間の國營航路實現促進に關する請願(第九十三號)
- 矢島鐵道株式會社の救済に關する請願(第九十七號)
- 信越線高崎、横川間電化工事を実施することに關する陳情(第二百一號)
- 道路運送法案(内閣送付)
- 舊小倉鐵道線拂下げに關する請願(第二百三號)
- 信越線高崎驛附近鶴川鐵橋の徑間擴張工事に關する請願(第七十七號)
- 五條驛、新宮市間の鐵道速成に關する請願(第八十八號)
- 學生鐵道運賃の是正に關する請願(第九十號)
- 東海道線沼津、濱松兩驛間の電化速成に關する請願(第一百一十二號)
- 九州、四國間の省營連絡に關する請願(第一百三十三號)
- 愛媛縣東宇和郡、八幡濱市間に國營自動車の運輸を開始することに關する請願(第一百四十四號)
- 山陰線の電化並びに廣島、松江南市間直通列車運轉に關する請願(第一百九號)
- 中央氣象臺牛深出張所設置に關する請願(第二百二十七號)
- 九州、四國間の省營連絡に關する請願(第二百三十七號)
- 常磐線松戸、平兩驛間電化促進に關する請願(第二百四十二號)
- 中央氣象臺牛深出張所設置に關する請願(第二百四十四號)
- 舊播磨鐵道線拂下げに關する請願(第二百六十一號)
- 常磐線松戸、我孫子兩驛間電化工事實施に關する請願(第二百六十四號)
- 高知縣香美郡山田、大柄間國營自動車を岡、内まで延長並びに二自動車道路開設に關する請願(第二百六十六號)
- 四國循環線の全通促進並びに九、四連絡省營航路運航に關する請願(第二百七十號)
- 豐川鐵道及び厚來寺鐵道線拂下げに關する請願(第二百七十一號)
- 肥後線電化工事に關する請願(第二百七十三號)
- 札沼線中の撤收區間復元に關する請願(第二百八十四號)
- 四國循環線の全通促進並びに九、四連絡省營航路運航に關する請願(第二百八十六號)
- 常磐線松戸、我孫子兩驛間電化促進に關する請願(第二百八十八號)
- 豐後國宮内、十勝清水間鐵道敷設促進に關する請願(第二百八十九號)
- 江差町、東根村間に國營自動車の運輸を開始することに關する陳情
- 福島縣安達郡二本松、浪江兩町間に國營自動車の運輸を開始することに關する請願(第二百九十四號)
- 四國循環線の全通促進並びに九、四連絡省營航路運航に關する請願(第二百九十五號)
- 舊南海鐵道山手線拂下げに關する請願(第二百三三號)
- 大牟山驛復興に關する請願(第二百六號)
- 四國循環線の全通促進並びに九、四連絡省營航路の運航に關する請願(第二百一十二號)
- 後藤寺、糸田兩鐵道線拂下げに關する請願(第二百一十五號)
- 四國循環線の全通促進並びに九、四連絡省營航路の運航に關する請願(第二百一十七號)
- 西彼半島の陸海運交通の整備に關する請願(第二百二十二號)
- 民營事業と競合する國營バス開設反對に關する陳情(第三百二十號)
- 造船技術の振興方策に關する陳情(第三百二十八號)
- 道路交通行政に關する陳情(第三百五十二號)
- 磐城西郷信號所、湯野上驛間に鐵道を敷設することに關する請願(第二百三十六號)
- 九州、四國間の省營連絡に關する請願(第二百三十七號)
- 東北本線磐城西郷信號所を貨客取扱驛とすることに關する請願(第二百三十九號)
- 松本、長野兩市間外四路線に國營自動車の運輸を開始することに關する請願(第二百四十九號)
- 羽後鐵道災害復舊に關する請願(第二百五十二號)
- 關門國道トンネル建設工事促進に關する請願(第二百五十三號)
- 關門港に外國貿易船の入港促進に關する請願(第二百五十六號)
- 關門國道トンネル建設工事促進に關する請願(第二百五十六號)
- 沿岸荷役業者の貨物自動車運賃に關する請願(第二百七十七號)
- 省線電車を小田原まで延長することに關する請願(第二百七十八號)
- 沿岸荷役業者の貨物自動車運賃に關する請願(第二百八十八號)
- 山陰線餘部鐵道修理に關する陳情(第二百七十一號)
- 姫路及び新宮兩驛、宍粟郡内間に國營自動車の運輸を開始することに關する陳情(第二百七十六號)
- 横須賀線逗子、田浦間に沼間驛を設置することに關する陳情(第三百一十八號)
- 姫路及び新宮兩驛、宍粟郡内間に國營自動車の運輸を開始することに關する陳情(第四百一號)
- 直江津、六日町兩驛間に鐵道を敷設することに關する請願(第二百九十六號)
- 磐前縣磐田郡二俣町、佐久間村間に鐵道を敷設することに關する請願(第二百九十八號)
- 油津港を第二種港編入並びに貿易

開港場指定に関する請願(第三百號)

○油津臨港鐵道敷設に関する請願(第三百一號)

○横須賀開港指定促進等に関する請願(第三百六號)

○富山縣東礪波郡城端、西赤尾間に國營トラックの運輸を開始することに關する請願(第三百七號)

○東海道線沼津、濱松兩驛間電化促進に關する請願(第三百一十一號)

○八戸線久慈驛、岩泉町間に國營自動車運輸を開始することに關する請願(第三百十七號)

○徳島縣穴吹驛、白地間に國營自動車運輸を開始することに關する請願(第三百十八號)

○大糸線全通促進に關する請願(第三百二十六號)

○中央線甲府、鹽尻兩驛間外二線路の電化實現に關する請願(第三百二十七號)

○中央線高藏寺、名古屋鐵道小牧兩驛間に國營自動車運輸を開始することに關する陳情(第四百七號)

○姫路及び新宮兩驛、安栗郡内間に國營自動車運輸を開始することに關する陳情(第四百二十三號)

○舊有馬線復舊に關する陳情(第四百二十號)

○小運送業の戦時統制撤廢に關する陳情(第四百三十一號)

○若松港を第一種重要港灣に編入することに關する陳情(第四百三十七號)

○濱原、十日市兩驛間に鐵道を敷設することに關する請願(第三百五十三號)

○四國循環鐵道開通促進に關する請願(第三百五十五號)

○福岡、寒河江間左澤、荒砥間の鐵道敷設及び福岡、寒河江間外二線路に國營自動車運輸を開始することに關する請願(第三百五十七號)

○栃木縣今市、福島縣田島兩町間に鐵道を敷設することに關する請願(第三百七十三號)

○白根鐵道復舊に關する請願(第三百八十三號)

○東海道線沼津、濱松兩驛間電化促進に關する陳情(第四百六十七號)

○今次の水害による足尾線復舊促進に關する陳情(第四百七十五號)

○川湖、有田兩驛間に國營自動車運輸を開始することに關する請願(第三百八十五號)

○桃ノ川、袴袴兩驛間に國營自動車運輸を開始することに關する請願(第三百八十六號)

○土讚線電化に關する請願(第三百八十七號)

○下田、飯田兩驛間に國營自動車運輸を開始することに關する請願(第三百九十號)

○四國循環線の全通並びに九、四連絡民營運航強化に關する請願(第三百九十五號)

○茂木、御前山間の國營バスの運輸を水月市まで延長することに關する請願(第三百九十八號)

○水戸市、波崎町間並びに鹿島、千葉縣佐原町間に國營バスの運輸を開始することに關する請願(第三百九十九號)

○岐阜市、根尾村間に國營バスの運輸を開始することに關する請願(第四百六號)

○肥薩線電化促進に關する請願(第四百十號)

○都道府縣議會議員に管下鐵道無賃乗車券交付に關する請願(第四百十一號)

○四國循環線の全通並びに九、四連絡民營運航強化に關する請願(第四百十六號)

○中央線甲府、鹽尻兩驛間外二線路の電化實現に關する陳情(第四百八十七號)

○九、四連絡民營運航強化に關する陳情(第四百九十號)

○地方鐵道法の一部を改正する法律案(内閣送付)

○中央線甲府、鹽尻兩驛間外二線路の電化實現に關する請願(第四百二十九號)

○姫路、播磨新宮、若櫻間に國營自動車運輸を開始することに關する請願(第四百三十六號)

○大糸線全通促進に關する請願(第四百四十號)

○甲府、長野兩驛間電化實現に關する請願(第四百四十一號)

○上毛鐵道水害復舊に關する請願(第四百四十二號)

○中央線甲府、鹽尻兩驛間外二線路の電化實現に關する請願(第四百四十四號)

○大糸線全通促進に關する請願(第四百四十八號)

○大内驛、野村町間に國營自動車運輸を開始することに關する陳情(第五百二十二號)

○都道府縣議會議長に國有鐵道無賃乗車券交付に關する陳情(第五百二十七號)

○大糸線全通促進に關する陳情(第五百三十六號)

○中央線甲府、鹽尻兩驛間外二線路の電化實現に關する陳情(第五百三十七號)

○中央線甲府、鹽尻兩驛間外二線路の電化實現に關する請願(第五百三十九號)

○都道府縣議會議員に管下鐵道無賃乗車券交付に關する請願(第五百三十九號)

○委員(板谷順助君) これより會議を開きます。諸君にお話したいことがあります。請願につきましては、御承知の通り、第一、第二の小委員會を設けておいたものであります。出席率の餘りよくない關係からして、これを合併いたしました。請願に關する審議を行つたのであります。この後の取扱いにつきましては委員長に任されたのであります。別に小委員會を設けないで済ませる諸君の出席を願うこととして委員會で以てやはこの審議をするというふうなことにしてはいかがでございますか。

○委員(板谷順助君) それではそのように決定いたします。それから海難審判所法案が御承知の通り、来る九日を以て任期満了とでも申します。期日は経過をいたしましたので、これは御承知の通り、小委員會に付しておりますので小委員長から御報告を願つたいと思つたのでございます。

○委員(板谷順助君) 小委員長小林君どうぞ御報告をお願いします。

○小林勝馬君 只今議題となりました海難審判法案小委員會における審議の結果を簡単に御報告申し上げます。皆御承知の通り、小委員會は九月十八日にございまして、途中から審議を始めたのでございまして、その後

三回會議を開きまして、各員熱心に研究審議をいたしましたのであります。小委員會となりまして以来の質疑の主なものを申し上げます。丹羽議員から、報告に對して或る程度の強制力を附することはよいが、報告を受ける被報告者に對して抗告を認めることが民主的ではないかという質疑がありました。これに對しまして有田政府委員から、命令の内容で被報告者を救済することを考へておる。又高等裁判所の方のことは行政權の範圍外であるから何も申上げられませんかとの答辯がありました。更に同議員から、法案第九條の海難審判所の名稱、位置、管轄等を政令で定めることとしておられるのはどうであらうかと質問に對しまして、有田政府委員は、この審判は行政處分だからよいのではないかとお尋ねの答辯がありました。次に新谷議員から、法案の第四十五條で、審判の手續を總て命令で定めるとしてあるのは廣汎な委任命令で、敢えて反對ではないが、効果が重要であるから將來法律事項にして貰いたい。かがとの質問に對しまして、有田政府委員から、法律改正のときは研究の上善處することにした。たいとの答辯がありました。次に施行期日の問題で懇談に移りまして、懇談が終つてから更に丹羽議員から、第二審の請求が言滅しの日から七日間では短か過ぎるではないかと質問に對しまして、有田政府委員から、第二審の請求は候補でない場合は口頭でも電報でもできるよりに取計らいたい。又請求理由書は七日間を限らないで、三十日以内でよいことにする考へであるとの答辯がありました。次に新谷議員から、補佐人を頼むのに費用が掛つて困

本日會議に付した事件

海難審判法案

委員(板谷順助君) これより會議を開きます。諸君にお話したいことがあります。請願につきましては、御承知の通り、第一、第二の小委員會を設けておいたものであります。出席率の餘りよくない關係からして、これを合併いたしました。請願に關する審議を行つたのであります。この後の取扱いにつきましては委員長に任されたのであります。別に小委員會を設けないで済ませる諸君の出席を願うこととして委員會で以てやはこの審議をするというふうなことにしてはいかがでございますか。

委員(板谷順助君) それではそのように決定いたします。それから海難審判所法案が御承知の通り、来る九日を以て任期満了とでも申します。期日は経過をいたしましたので、これは御承知の通り、小委員會に付しておりますので小委員長から御報告を願つたいと思つたのでございます。

委員(板谷順助君) 小委員長小林君どうぞ御報告をお願いします。

小林勝馬君 只今議題となりました海難審判法案小委員會における審議の結果を簡単に御報告申し上げます。皆御承知の通り、小委員會は九月十八日にございまして、途中から審議を始めたのでございまして、その後

三回會議を開きまして、各員熱心に研究審議をいたしましたのであります。小委員會となりまして以来の質疑の主なものを申し上げます。丹羽議員から、報告に對して或る程度の強制力を附することはよいが、報告を受ける被報告者に對して抗告を認めることが民主的ではないかという質疑がありました。これに對しまして有田政府委員から、命令の内容で被報告者を救済することを考へておる。又高等裁判所の方のことは行政權の範圍外であるから何も申上げられませんかとの答辯がありました。更に同議員から、法案第九條の海難審判所の名稱、位置、管轄等を政令で定めることとしておられるのはどうであらうかと質問に對しまして、有田政府委員は、この審判は行政處分だからよいのではないかとお尋ねの答辯がありました。次に新谷議員から、法案の第四十五條で、審判の手續を總て命令で定めるとしてあるのは廣汎な委任命令で、敢えて反對ではないが、効果が重要であるから將來法律事項にして貰いたい。かがとの質問に對しまして、有田政府委員から、法律改正のときは研究の上善處することにした。たいとの答辯がありました。次に施行期日の問題で懇談に移りまして、懇談が終つてから更に丹羽議員から、第二審の請求が言滅しの日から七日間では短か過ぎるではないかと質問に對しまして、有田政府委員から、第二審の請求は候補でない場合は口頭でも電報でもできるよりに取計らいたい。又請求理由書は七日間を限らないで、三十日以内でよいことにする考へであると

の答辯がありました。次に新谷議員から、補佐人を頼むのに費用が掛つて困

る。補佐人を頼むのに費用が掛つて困

る。補佐人を頼むのに費用が掛つて困

る。補佐人を頼むのに費用が掛つて困

る。補佐人を頼むのに費用が掛つて困

る。補佐人を頼むのに費用が掛つて困

る。補佐人を頼むのに費用が掛つて困

る。補佐人を頼むのに費用が掛つて困

る。補佐人を頼むのに費用が掛つて困

る。補佐人を頼むのに費用が掛つて困

（第三百五十五號）  
 ○橋岡、釜河江間左津、荒瀬間の鐵道  
 ○都道府縣議會議員に管下鐵道無賃乘

（七號）  
 電化實現に關する陳情（第五百三十三號）  
 九月十八日にできまして、途中から審議を始めたのでございしますが、その後

の答辯がなりました。次に委員長の答辯を願ひに費用が掛つて困

る者が、多数の船員や漁船の者にはあると思うが、官選の補佐人という者を國費の關係もあらうが置いたらどうかとの質問に對しまして、有田及び大久保兩府委員から財政上の見通しがつけば實現したい意向である。又小型の船舶についてはできるだけ行政的指導をして心算のないように努めたいとの答辯がありました。尙本法案の施行期日は、政令で定めると原案ではしてあるのでございしますが、この點には本法の附則に但書を附しまして、但しその期日は、昭和二十三年三月一日以後であつてはならない。と修正することといたしました。これに對しまして政府委員も同意せられ、且つでき得る限り早く實施の運びになるように努めるといふ答辯がありました。次いで討論に入りましてありましたが、海難審判の勸告の裁決は、社會的に重大な効果を豫想せられることであるから、受審人の點も考慮すると共に、勸告を受ける者の立場を擁護する必要がある。又本法案には非常に命令に關つた事項が多いが、政府において命令を立案する場合に當つては、國會の意思を十分に汲み、又必要があれば公聴會なども開いて遺憾なきを期せられたい。更に海難豫防等の諸施設が現在極めて不備であるから、政府においては一層努力して、これが整備を計られたりとの希望がありました。斯くいたしまして採決いたしましたところ、全員一致で本法案附則の施行期日を修正することの外は、原案の通り可決すべきものとの決議をいたしました次第でございす。

とに御了承を賜わらんことをお願いして、私の御報告を終りたいと思ひます。  
 ○委員長(板谷順助君) 只今小林委員長の報告に對して何か御質疑がございしたらお申出を願ひます。それからその施行期日について、關係方面との交渉の経過を御報告願ひます。  
 ○小林勝馬君 施行期日の問題につきまして、G.S.の方に交渉いたしましたところ、もつと早くやらないか、發布して直ぐやらないかという御意見でございしましたけれども、三月一日以前にできるだけ早く施行するようにはいたしました。三月一日というのは、最大限のものであるから御了承願ひたいということとを申出まして了解を得ましたので本日それが解決いたしました。  
 ○委員長(板谷順助君) そうすると何ですか。一部の修正になりますか。施行期日は政令で以て定めるといふやつを、三月一日以前に施行期日を定めろ、こゝろですか。  
 ○小林勝馬君 三月一日以後になつてはならない……。  
 ○委員長(板谷順助君) 以後になつてはならない……。  
 ○小林勝馬君 はあ。發布は至急に發布して貰つて、施行期日を三月一日以前に出来るだけ早くやれ、こゝろ御意向でございす。  
 ○委員長(板谷順助君) そうする衆議院はそのまま交付になつたのでありますが、一部の修正ということになりますか。  
 ○小林勝馬君 そうでございす。修正の點につきまして衆議院の方に本日連絡をいたしまして、了解を得て参りました。

○委員長(板谷順助君) 衆議院も修正するに同意した……。  
 ○小林勝馬君 はあ……。  
 ○委員長(板谷順助君) いかでございすか。只今小林委員長の報告について御異議ありませんか。  
 ○委員長(板谷順助君) 御異議がなければ、本總會におきまして、小委員長の報告通り決定するに差支ありませんか。  
 ○委員長(板谷順助君) それではその通り決定いたします。先程申し上げました通り、九日が期日で、その以前にどうしても本會議にかけなければならぬわけでありまして、別に御質疑がなければ、本日討論に入りたいと思ひます。いかがですか。別に御質疑ありませんか。  
 ○委員長(板谷順助君) 御質疑がなければ討論に入ります。いかがですか。討論なさる方はありますか。  
 ○小泉秀吉君 小委員會では相當に討論をしたので、小委員會の議案をその通り可決されることを望みまして、これは討論を省略して賛成したいと思ひます。  
 ○小野哲君 私も今小泉委員の御發言に對しては賛成したいと思ひます。  
 ○委員長(板谷順助君) それでは採決に入ります。本案に對して賛成の諸君の起立を求めます。  
 ○委員長(板谷順助君) 全員起立。本案は修正可決されました。それでは御署名を願ひます。

○委員長(板谷順助君) 衆議院も修正するに同意した……。  
 ○小林勝馬君 はあ……。  
 ○委員長(板谷順助君) 御異議がなければ、本總會におきまして、小委員長の報告通り決定するに差支ありませんか。  
 ○委員長(板谷順助君) それではその通り決定いたします。先程申し上げました通り、九日が期日で、その以前にどうしても本會議にかけなければならぬわけでありまして、別に御質疑がなければ、本日討論に入りたいと思ひます。いかがですか。別に御質疑ありませんか。  
 ○委員長(板谷順助君) 御質疑がなければ討論に入ります。いかがですか。討論なさる方はありますか。  
 ○小泉秀吉君 小委員會では相當に討論をしたので、小委員會の議案をその通り可決されることを望みまして、これは討論を省略して賛成したいと思ひます。  
 ○小野哲君 私も今小泉委員の御發言に對しては賛成したいと思ひます。  
 ○委員長(板谷順助君) それでは採決に入ります。本案に對して賛成の諸君の起立を求めます。  
 ○委員長(板谷順助君) 全員起立。本案は修正可決されました。それでは御署名を願ひます。

○委員長(板谷順助君) 衆議院も修正するに同意した……。  
 ○小林勝馬君 はあ……。  
 ○委員長(板谷順助君) 御異議がなければ、本總會におきまして、小委員長の報告通り決定するに差支ありませんか。  
 ○委員長(板谷順助君) それではその通り決定いたします。先程申し上げました通り、九日が期日で、その以前にどうしても本會議にかけなければならぬわけでありまして、別に御質疑がなければ、本日討論に入りたいと思ひます。いかがですか。別に御質疑ありませんか。  
 ○委員長(板谷順助君) 御質疑がなければ討論に入ります。いかがですか。討論なさる方はありますか。  
 ○小泉秀吉君 小委員會では相當に討論をしたので、小委員會の議案をその通り可決されることを望みまして、これは討論を省略して賛成したいと思ひます。  
 ○小野哲君 私も今小泉委員の御發言に對しては賛成したいと思ひます。  
 ○委員長(板谷順助君) それでは採決に入ります。本案に對して賛成の諸君の起立を求めます。  
 ○委員長(板谷順助君) 全員起立。本案は修正可決されました。それでは御署名を願ひます。

十一月四日日本委員會に左の事件を付託された。  
 一、中央線甲府、鹽尻兩驛間外二線路の電化實現に關する請願(第四百二十九號)  
 一、姫路、播磨新宮、若櫻間に國營自動車の運輸を開始することに關する請願(第四百三十六號)  
 一、大糸線全通促進に關する請願(第四百四十二號)  
 一、甲府、長野兩驛間電化實現に關する請願(第四百四十一號)  
 一、上毛鐵道水害復舊に關する請願(第四百四十二號)  
 一、中央線甲府、鹽尻兩驛間外二線路の電化實現に關する請願(第四百四十四號)  
 一、大糸線全通促進に關する請願(第四百四十八號)  
 一、大内驛、野村町間に國營自動車運輸を開始することに關する陳情(第五百二十二號)  
 一、都道府縣議會議長に國有鐵道無賃乘車證下附に關する陳情(第五百二十七號)  
 一、大糸線全通促進に關する陳情(第五百三十六號)  
 一、中央線甲府、鹽尻兩驛間外二線路の電化實現に關する陳情(第五百三十七號)  
 (請願第四百二十九號)昭和二十二年十月二十日受理  
 中央線甲府、鹽尻兩驛間外二線路の電化實現に關する請願

請願者 長野縣諏訪郡下諏訪町 長 青木正喜外十名 (外二件)  
紹介議員 木下盛雄君  
この請願の趣旨は、請第三百二十七號と同じである。

(請第四百三十六號)昭和二十二年十月二十二日受理  
姫路、播磨新宮、若穂間に國營自動車  
の運輸を開始することに關する請願  
請願者 兵庫縣赤松郡土庫村長 岸原徳四郎  
紹介議員 小畑哲夫君  
赤松郡は、全國有数の大郡であつて林産頗る豊富であるが、交通機關は戦時中統合設立された赤粟貨物自動車會社所有の七十餘臺のトラックのみで、物資の搬出上生産者のこうむる不便不利は絶大なるものがある。これらの事情に鑑み鐵道省は昭和十一年本縣山崎町に山崎荷扱所を設置したが、國營自動車がないため、その効果も十分でなく又運輸交通不便のため、文化産業方面においても社會に取り残されている實状であるから、速かに國營自動車を開設されたいとの請願。

(請第四百四十號)昭和二十二年十月二十二日受理  
大糸線全通に關する請願  
請願者 松本市長 筒井直久  
紹介議員 木下盛雄君  
この請願の趣旨は、請第三百二十六號と同じである。

(請第四百四十一號)昭和二十二年十月二十二日受理  
甲府、長野兩縣間電化實現に關する請願  
請願者 松本市長 筒井直久  
紹介議員 木下盛雄君  
この請願の趣旨は、請第三百二十六號と同じである。

請願者 松本市長 筒井直久  
紹介議員 木下盛雄君  
甲府長野間鐵道電化促進については、二十五年前より機會ある毎に陳情を續けて來たのであるが、地方民の懇望にもかかわらず未だ著工時期の繰上げ決定に到らない現状である。この際電化に伴う石炭の節約並びに輸送力増加、トンネル内列車事故の防止、觀光客誘致の見地より至急右區間の電化を實現されたいとの請願。

(請第四百四十二號)昭和二十二年十月二十二日受理  
上毛鐵道水害復舊に關する請願  
請願者 前橋市長 關口志行外九名  
紹介議員 木下盛雄君  
前橋、桐生兩市を結ぶ上毛電氣鐵道線は、赤城山南面の肥沃地を貫いて産業の開發、文化の向上に重要な使命を果していたが、今次の水害のため橋りよう、盛土等の流失によつて寸断状態となつた。この地方の復興再建は、右鐵道の復興に左右されているから、災害による資金關係資材入手等に特別の措置を講ぜられたいとの請願。

(請第四百四十四號)昭和二十二年十月二十四日受理  
中央線甲府、鹽尻兩縣間外二線路の電化實現に關する請願  
請願者 長野縣南安曇郡豊科町長 田中耕外十六名  
紹介議員 木下盛雄君  
この請願の趣旨は、請第三百二十七號と同じである。

大糸線全通促進に關する請願  
請願者 長野縣南安曇郡豊科町長 田中耕外十六名  
紹介議員 木下盛雄君  
この請願の趣旨は、請第三百二十六號と同じである。

(陳第五百二十二號)昭和二十二年十月十三日受理  
大内驛、野村町間に國營自動車の運輸を開始することに關する陳情  
愛媛縣東宇和郡野村町長 渡邊百三外五名  
愛媛縣東郡野村町、國鐵大内驛間の縣道は宇和島市と松山市を結ぶ最短路であり沿道六ヶ町村の努力によつて昭和十二年齒長山脈横斷の土屋トンネルも完成されたが民營自動車會社は配車不能を理由に一日二往復を申請的に運轉している状態、このままでは産業、經濟、文化等の發展にも遅れ特に多量なる沿道農林産物も貨物自動車なき爲沿道に腐朽するが如き奇觀を呈する有様であるから早急に國營自動車の運輸を開始されたいとの陳情。

(陳第五百二十七號)昭和二十二年十月十四日受理  
都道府縣會議長に國有鐵道無賃乘車證下付に關する陳情  
石川縣會議長 岡島有作外六名  
地方自治體が、今や國政民主化の基盤として、新たな使命を遂行しなければならぬ時、都道府縣會議長は、地方實情の視察精査等の國家再建に大なる責任を持つてゐるのであるから、知事と同じように國有鐵道無賃乘車證を下付されたいとの陳情。

(陳第五百三十六號)昭和二十二年十月十六日受理  
大糸線全通促進に關する陳情  
松本商工會議所會頭 渡邊榮藏  
大糸線の未通箇所は十七科にすぎず、既にトンネルは通じ橋脚は完成して、ただレールを敷設するのみとなつてゐるのであるから、至急この線を全通して、從來信越線その他に依存していた貨客の利便を圖られたいとの陳情。

(陳第五百三十七號)昭和二十二年十月十六日受理  
中央線甲府、鹽尻兩縣間外二線路の電化實現に關する陳情  
松本商工會議所 渡邊榮藏  
この陳情の趣旨は、陳第四百八十七號と同じである。

(請第四百四十八號)昭和二十二年十月二十四日受理

昭和二十三年三月二十五日印刷

昭和二十三年三月二十六日発行

參議院事務局

印刷者 印刷局

(第十四部)

(三八七)